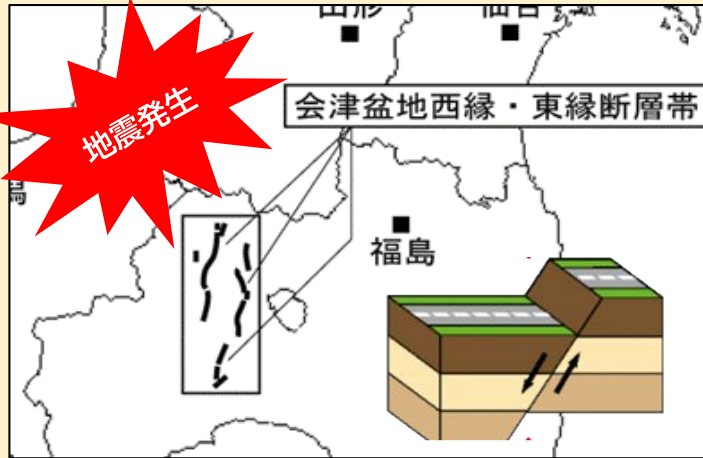


上水道管路の耐震化対策

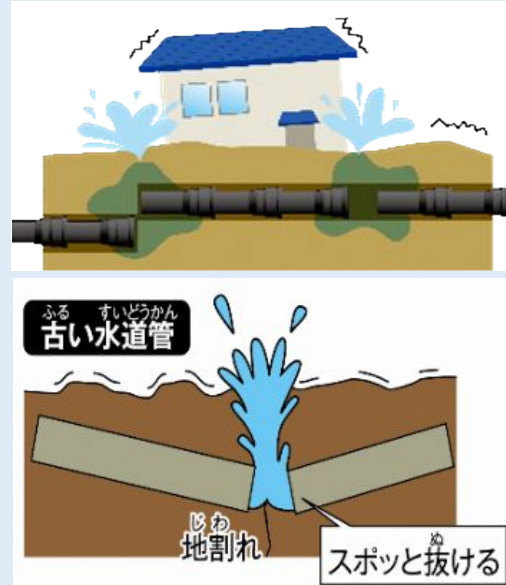
会津若松市では、平成23年に発生した東日本大震災によって、浄水場から配水池まで水を送る送水管をはじめ、市内各所で給配水管の漏水が発生しました。しかし水道管として機能が損なわれることなく残っていた箇所もあります。これは水道管が耐震化されていたからです。**地震などの災害時においても給水機能が確保され、断水による市民生活や社会経済への影響を最小限にとどめるためにも耐震化の取組は重要です。**

□ 水道管を耐震化した時としない時の違いって何??



出典：地震調査研究推進本部ホームページ
(<http://www.jishin.go.jp/>)

耐震化がされない場合

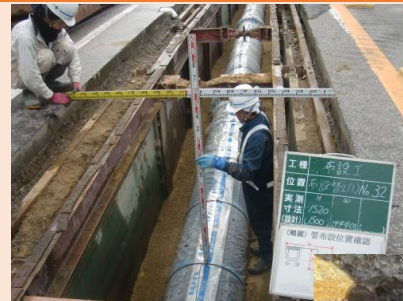


【過去の地震】

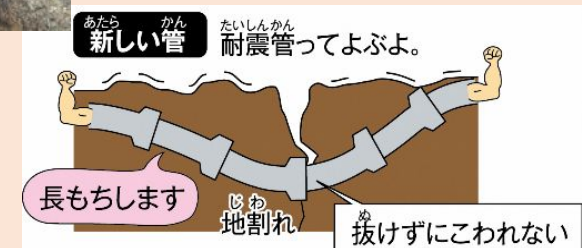
- 「会津慶長地震」
- ・1611年9月会津盆地西縁断層帯付近を震源として発生した。
 - ・地震の規模マグニチュード6.9程度と推定。
 - ・震源が浅く、震度6強から7に相当する激しい揺れがあったとされる。
 - ・家屋の被害は会津一円に及び倒壊家屋は2万戸余り、死者は3,700人に上る。
 - ・鶴ヶ城の石垣が崩れ落ち7層の天守閣が傾いた。

出典：ウィキペディア

耐震化がされた場合



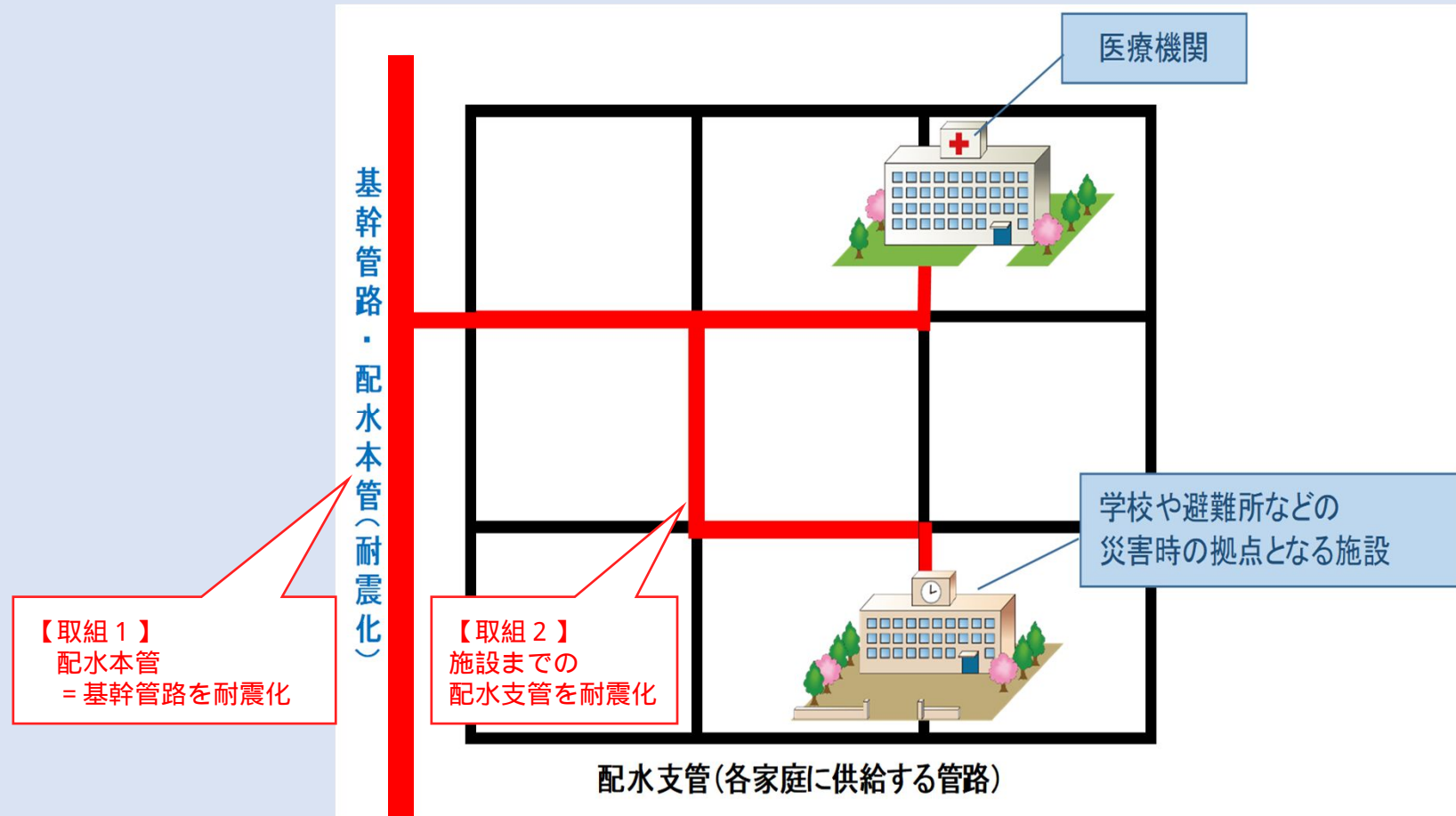
デジタル技術



上水道管路の耐震化対策

会津若松市では、平成23年に発生した東日本大震災によって、浄水場から配水池まで水を送る送水管をはじめ、市内各所で給配水管の漏水が発生しました。しかし水道管として機能が損なわれることなく残っていた箇所もあります。これは水道管が耐震化されていたからです。地震などの災害時においても給水機能が確保され、断水による市民生活や社会経済への影響を最小限にとどめるためにも耐震化の取組は重要です。

災害時に拠点となる施設までの配水管の耐震化

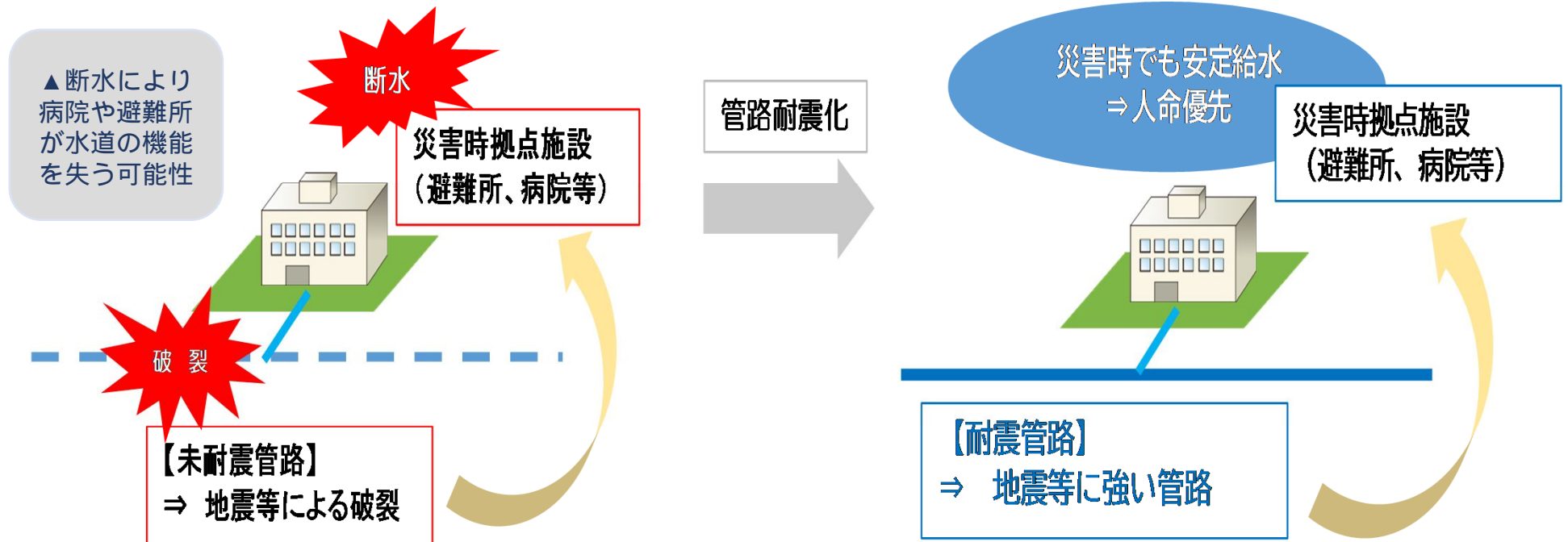


- 管路耐震化により、発災時でも水道水の給水機能の確保します。
- 災害時に重要な施設となる避難所や大規模病院までの耐震化を優先的に進めます。

上水道管路の耐震化対策

会津若松市では、平成23年に発生した東日本大震災によって、浄水場から配水池まで水を送る送水管をはじめ、市内各所で給配水管の漏水が発生しました。しかし水道管として機能が損なわれることなく残っていた箇所もあります。これは水道管が耐震化されていたからです。**地震などの災害時においても給水機能が確保され、断水による市民生活や社会経済への影響を最小限にとどめるためにも耐震化の取組は重要です。**

災害時に拠点となる施設までの配水管の耐震化



- 管路耐震化により、発災時でも水道水の給水機能の確保します。
- 災害時に重要な施設となる避難所や大規模病院までの耐震化を優先的に進めます。

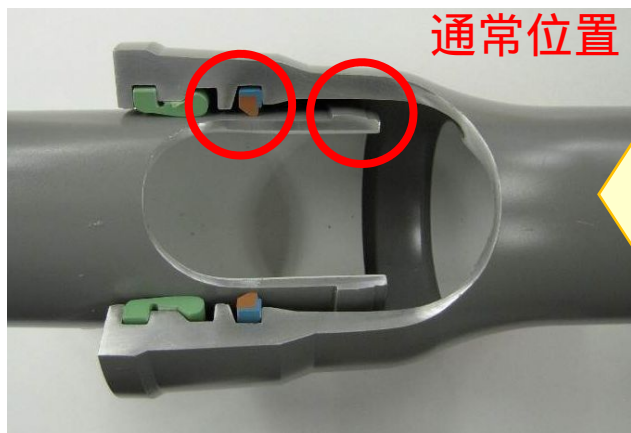
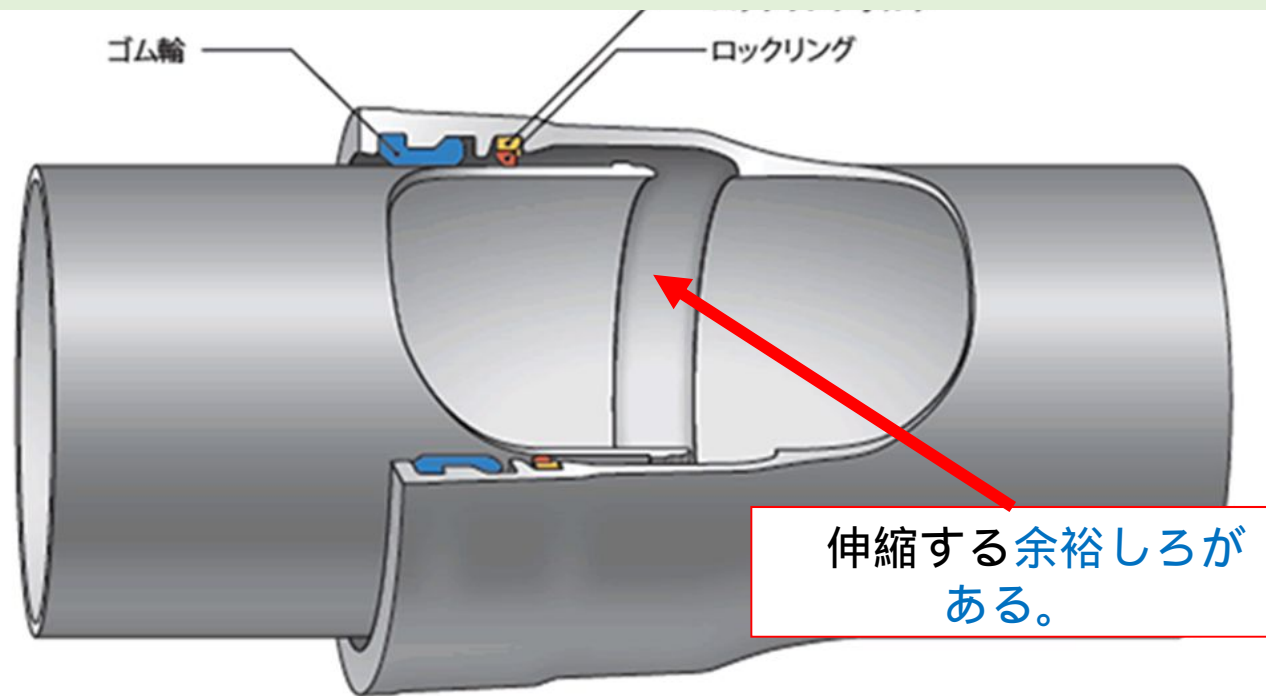
上水道管路の耐震化対策

会津若松市では、平成23年に発生した東日本大震災によって、浄水場から配水池まで水を送る送水管をはじめ、市内各所で給配水管の漏水が発生しました。しかし水道管として機能が損なわれることなく残っていた箇所もあります。これは水道管が耐震化されていたからです。地震などの災害時においても給水機能が確保され、断水による市民生活や社会経済への影響を最小限にとどめるためにも耐震化の取組は重要です。

ダクタイル鉄管 【G X形 75～450】

大きな伸縮性および可とう性をもつプッシュオンタイプの継手。最終的には受口と挿し口が引っ掛かり合って離脱防止の役目をする。

本市では「耐震管」に位置付けている。



継手の伸縮性・可とう性を発揮する。

地震時は左右の位置を行ったり来たりする。



受口と挿し口が引っ掛かった状態
= 離脱しない